

まちなか足羽川会議

この会議は、周辺地域も含めた足羽川（日野川合流点～足羽大橋付近）を舞台に各主体のパートナーシップのもと、①四季折々の豊かな自然や景観、および、②地域独特の歴史や文化を活かす各種行事を活性化していくことで、「希薄になった人と川とのつながり」を呼び戻し、将来に渡って人が集い・交わり・賑わう地域を創る」ことを目的とし、平成23年5月に発足しました。

現在の会員数は、流域周辺の公民館、環境団体、教育機関、民間企業など計65団体となっています。（平成25年3月末時点）

平成24年度の活動報告

みんなで足羽川セミナー

日時：平成24年7月21日（土）13：30～16：30

場所：ユー・アイふくい 3F 映像ホール

足羽川での遊びの楽しさや付き合い方、川の魅力を知り、夏休みは足羽川で遊んでもらうことを目的として「みんなで足羽川セミナー」を開催しました。講師の方々に川遊び、水中生物、カヌー、歴史の4分野に関して講義して頂いた後、2つのテーマに基づいて事前に開催された分科会での意見発表を踏まえたパネルディスカッションも行いました。

事前に開催された分科会では、第1分科会では「川ガキを増やそう!」、第2分科会では「キレイな川を守り育てよう!」というテーマについて、参加された会員の方々から活発な意見交換が行われました。



まちなか足羽川会議 ホームページ開設

まちなか足羽川会議のホームページが開設しました。足羽川の魅力の紹介や、各種イベントの案内などの情報が盛りだくさんです。下記アドレスを入力するか、検索サイトにて「まちなか足羽川会議」を入力して、アクセスして下さい。

<http://info.pref.fukui.lg.jp/kasen/asuwa>



ゴムボートによる河川巡視

県は、河川敷からは見えない箇所にある護岸などの河川管理施設の目視確認のため、平成24年度にゴムボートを購入しました。足羽川では4月から10月の期間は月1回の頻度でゴムボートによる河川巡視を行う予定です。



足羽川の歴史「毛屋の繰舟」

幸橋の架橋は幕末の文久2年（1862）であり、架橋以前は繰舟（くりぶね）という、両岸に縄を張り、舟に乗った船頭がこの縄を手繰ることで往来していました。午前6時から午後6時まで運行し、藩士や町医者などの限られた身分の者しか乗船できなかったとされています。

この毛屋の繰舟に乗って、坂本龍馬は右岸側から左岸側にあった由利公正宅を訪れたといわれています。



『江戸－福井往還図屏風（左隻・部分）』（福井県立歴史博物館蔵）

河川環境学習活動への助成事業の紹介

河川を活かした環境学習活動などに対し、助成を受けることができます。県河川課では、申請書作成におけるアドバイスやサポートなどを随時受け付けています。

助成実施者	福井県自然環境課	財団法人河川環境管理財団
対 象	学校、公民館、民間団体、企業など	小中学校
内 容	地域の自然観察会の講師、自然再生に関する学習会等の講師など	小中学校の総合的な学習の時間における河川を題材とした活動
助 成 額	講師派遣に伴う謝礼および旅費	10万円以内/件
スケジュール	平成25年度において随時受付	平成25年10月募集開始、11月募集締切 平成26年3月採択決定、4月事業着手
参考URL	http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/shizen/shientai-haken.html	http://www.kasenseibikikin.jp/index

かわらばんふくい

第6号 2013.3 発行

【目次】

- P1 …… 沈下橋付近の写真
- P2,3… 足羽川での活動紹介
- P4 …… まちなか足羽川会議の活動 など



初 夏

静かに流れる足羽川を、夕日が徐々に染めていく。夕暮れに向けて加速する時の流れのなんと早いことか。

川面に浮かぶ沈下橋の周りには、休日ともなると家族連れらが三々五々集い、水辺に憩う。

オレンジ色に染まった川の流に伸びる、橋を渡る子どもたちのシルエット。

「おいで」

しっかり手をつないだ親子が、川に入った。

運動する



マラソン大会 (H24.6、10月開催)

東安居小、足羽小

足羽川遊歩道コースを気持ちよく走るマラソン大会が開催された。運営には、地域の見守り隊や保護者の協力を得て実施している。

ウォーキング・運動教室 (H24.4、6、10月開催)

東安居公民館、ライフスタイル研究所、日之出育成会・体育協会・公民館

足羽川の河川敷にてウォーキングや運動教室が開催された。参加者は足羽川での散策や、指導者のもとボール遊びやスキップなどを行い、元気に体を動かした。



さわやか福井トリムマラソン大会 運-1 (H24.6、8月開催)



さわやか福井ジョギングクラブ

毎年6、8月に開催している恒例のマラソン大会で各自が自分のペースで5キロを完走。河川敷のランニングコースは車が通らず、フラットなので走りやすいと参加者には好評。

カヌー川下り (H24.4月開催) 運-2

満開の桜のもと、カヌー愛好者によるカヌー川下りが開催された。参加者はカヌー上級者でもあることから、競技の練習も織り交ぜながらも、足羽川でのカヌー川下りを楽しんだ。



楽しむ

おもしろ自転車試乗会 楽-1 (H24.4月開催)

小学生連れの家族らが参加。清流を横目に休日を満喫した。自転車は円状に7人分のサドルとペダルが並ぶ「エコ丸くん」と3人乗りで電動アシストが付いた「自転車タクシー」の1台ずつを用意。方向や速度の調節にてこずりながら笑顔で操作を楽しんだ。



ふくいマルシェ (H24.4月開催) 楽-3

福井青年会議所

桜並木を眺めながら、県内9店舗が出店し、新鮮な野菜や団子などの軽食を販売した。購入した軽食をその場で食べられる休憩場所が堤防上にあり、多くの人々がマルシェの雰囲気を楽しんだ。



お花見サルサとジャグリング 楽-2 (H24.4月開催)

サルサラボ、藤島高校ジャグリング部

藤島高校ジャグリング部によるボールやシガーボックスなどを使った演技披露、サルサスタジオに通う愛好者らによるサルサやベリーダンスのパフォーマンスが行われた。



冬の足羽川で遊んでみよう 楽-4 (H25.1月開催)

ノーム自然環境教育事務所
つぼみ幼稚園、青い鳥保育園、エール保育園

自然体験教室などを開催しているインストラクターのもと、参加した園児はソリ滑りやスノーシュー体験を楽しみ、普段は静かな河川敷に元気な声が響いた。



守る

セイタカアワダチソウ 駆除ボランティア 守-1 (H24.9月開催)

福井水仙ロータリークラブ
他市内8ロータリークラブ

大人の背丈を超えるほどのセイタカアワダチソウが茂る河川敷。今回は市の中心部(市の公園管理課区域内)の駆除に取り組んだ。およそ2時間の作業のうち、あじさいなどを残して河原は見違えるほどすっきりした。



清掃活動(民間企業等) (H24.8~10月開催)



福井地区建設業会、日立製作所福井支店、福井ミラクルエレファント、北陸コカ・コーラボトリング

民間企業やスポーツ団体が社会貢献の一環として清掃活動を実施。参加者は「落ちていると拾うようになった」と話していた。

合同清掃活動 (H24.6月開催)

光陽中、東安居小、湊小

地域への思いやりや、地域を大切にする心を育てることを目的に毎年、小中合同で実施。中学生は、それぞれの小学校の出身者。清掃活動には、地区の住民も協力者として参加。



憩う・食す

エコキャンドルをみんなで灯そう (H24.7月開催) 憩-1

福井校成幼稚園、やわらぎ木田保育園

激特事業の竣工から3年目を向かえ、今後も福井豪雨の教訓を風化させず、また、川への親しみ・環境への想いを深めることを目的に「エコキャンドルをみんなで灯そう」が開催された。エコキャンドルは幼稚園児による手作りで廃油等を再利用しており、カバーの絵も幼稚園児が描いている。



菜の花フェスタ (H24.4月開催) 憩-3

菜の花フェスタ実行委員会

ふくい春祭り関連行事として菜の花フェスタ実行委員会(東安居地区)が主催。高水敷に菜の花を植栽、ミニ電車、たこ揚げ、消防団による一斉放水、無双太鼓の演奏、キャンドルアートなど、多彩な催し物を実施。



よもぎ摘みと団子づくり (H24.5月開催) 憩-2

つぼみ幼稚園

子どもたちがとても楽しみにしている恒例行事。子どもたちの胸の高さほどの叢にも躊躇せずに入り、よもぎを収穫。園に帰って仕分けをし、ゆがいておいたものを翌日すりつぶし団子づくり。ゆであがった団子にきな粉をまぶして試食会。



春の野草観察と試食会 (H24.4月開催) 憩-4

福井県民せいきょう

野草に詳しい地元の方による野草観察の後、採取した野草で料理教室を開催した。ヒメオドリコソウ、クズ、ヨモギ、カキオドシなどは天ぷらに、菜の花はおひたしとして料理した。



学ぶ

植物観察会 (H24.5月開催) 学-1

湊公民館

☎0776-22-0032

菜の花の時期にハイキングと併せて、植物観察会を実施。植物の専門家による植物の見分け方や、草遊びなどを教わりながら、春の足羽川の散策を楽しんだ。



環境学習 (H24.4、10、11月開催)

木田小、旭小、湊小、和田小

「河川敷の生き物観察」「秋を探す校外学習」「流れる水の動き」などの環境学習が開催された。近くに実物の教材があるので利用したかったと先生。児童達も身近な川を前に、理解が深まった様子だった。



体験する

川に学ぶ体験教室 体-1 (H24.8月開催)

環境文化研究所

川の流れを体感しながら、川流れ、スローロープ救助、ゴムボート、水生生物や魚の観察を行った。参加した小学生たちは、水しぶきや大きな歓声を上げながら、川遊びや水難事故防止について楽しく学んだ。



底生生物調査 体-4 (H24.7、8月開催)

北陸公衆衛生研究所、木田公民館

身近な足羽川の生き物から川の流れについて学ぶための学習会を開催。実際にタモ網を持って川に入り、魚や水生生物を捕まえた。生息していた生き物や、バックテストという簡易調査により川の水質を判定したりした。



アユの稚魚放流体験 体-2 (H24.5月開催)

足羽川漁業協同組合

みどりこども園、福井エンゼル幼稚園、報徳幼稚園、三谷館保育園など
稚魚の放流を井市街地で実施するのはH22から始まり、今回で3年目。園児たちは稚魚に触ったりして大興奮。併せて、紙芝居による川遊びの安全指導を行った。



ボート川下り体験教室 (H24.10月開催) 体-3

環境文化研究所

参加した親子は、インストラクターによる指導のもと、オールを使い方を学び、ボート川下りを楽しみながら学んだ。途中、中洲において水切りや石遊びなどのネイチャーゲームも行った。



魚釣り教室 体-5 (H24.10月開催)

足羽川漁業協同組合、日本釣振興会、湊公民館、和田地区まちづくり委員会
釣インストラクターの指導で魚釣りを学んだ。ミミズを餌に、ヨシノボリやフナなど足羽川に生息する魚をたくさん釣ることができた。

